

(再評価)

資料 7 - (1)
令和 4 年 度 第 3 回
関 東 地 方 整 備 局
事 業 評 価 監 視 委 員 会

一般国道20号
日野バイパス(延伸)・
日野バイパス(延伸)Ⅱ期・
八王子南バイパス

令和 4 年 1 0 月 1 7 日
国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果（一体評価）

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
一般国道20号	日野バス(延伸)・ 日野バス(延伸)Ⅱ期・ 八王子南バス	L=14.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,500~41,300	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	2,610億円	334億円		2,945億円
うち残事業分	1,147億円	233億円		1,380億円
基準年における 現在価値 (C)	3,098億円	97億円		3,195億円
うち残事業分	937億円	68億円		1,005億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	令和15年度			
単年便益 (初年便益)	269億円	3.1億円	1.6億円	274億円
基準年における 現在価値 (B)	3,381億円	40億円	20億円	3,440億円
うち残事業分	2,375億円	29億円	9.2億円	2,414億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.1
経済的純現在価値 (B-C)	246億円
経済的内部収益率 (EIRR)	4.2%
費用便益比 (残事業)	2.4
経済的純現在価値 (残事業)	1,409億円
経済的内部収益率 (残事業)	9.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	20,500~41,300 (台/日)	±10%	1.03~1.2
事業費	2,610億円	±10%	1.05~1.1
事業期間	36年	±20%	0.98~1.2

④ 感度分析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	20,500~41,300 (台/日)	±10%	2.3~2.7
事業費	1,147億円	±10%	2.2~2.6
事業期間	10年	±20%	2.2~2.6

交通状況の変化

様式-3①

事業名：日野パイクス（延伸）・日野パイクス（延伸）Ⅱ期・八王子南パイクス（事業全体）

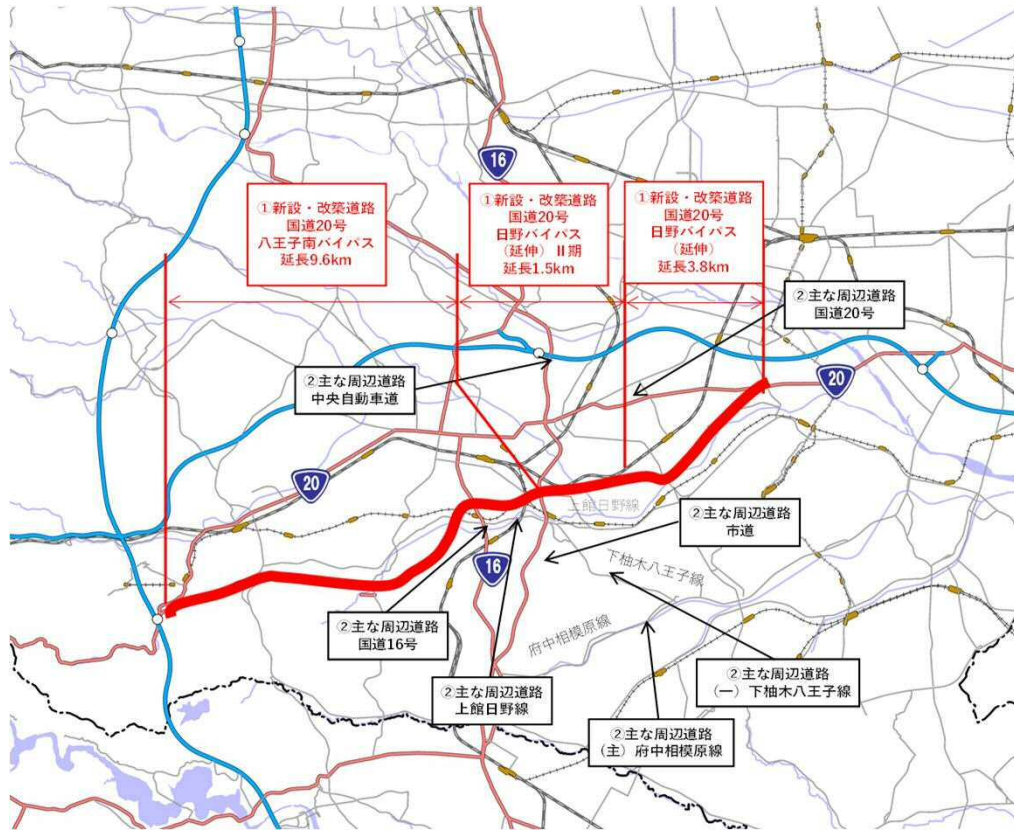
（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 14.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	30,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	17	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	98.71	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道20号 11.3km ②-1	交通量	[台/日]	28,100	21,000
		走行時間	[分]	34	25
		走行時間費用	[億円/年]	129.24	74.51
	国道16号 10.0km ②-2	交通量	[台/日]	26,000	25,000
		走行時間	[分]	29	28
		走行時間費用	[億円/年]	112.46	109.51
	(主)上館 日野線 7.7km ②-3	交通量	[台/日]	12,300	8,700
		走行時間	[分]	24	19
		走行時間費用	[億円/年]	44.06	27.53
	中央自動車道 18.7km ②-4	交通量	[台/日]	50,700	48,100
		走行時間	[分]	17	16
		走行時間費用	[億円/年]	151.99	137.95
	(主)府中 相模原線 8.2km ②-5	交通量	[台/日]	24,100	22,800
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	107.64	97.53
	市道 2.3km ②-6	交通量	[台/日]	12,600	9,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	14.55	12.18
(一)下柚 木八王子 線 3.1km ②-7	交通量	[台/日]	17,000	15,300	
	走行時間	[分]	9	9	
	走行時間費用	[億円/年]	24.01	23.18	
③その他道路 合計 2,396.7km	走行時間費用	[億円/年]	19,723.99	19,465.47	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,472.9km	走行時間短縮便益 [億円/年]	20,307.95	20,046.58	261.37

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：日野パハス（延伸）・日野パハス（延伸）Ⅱ期・八王子南パハス（残事業）

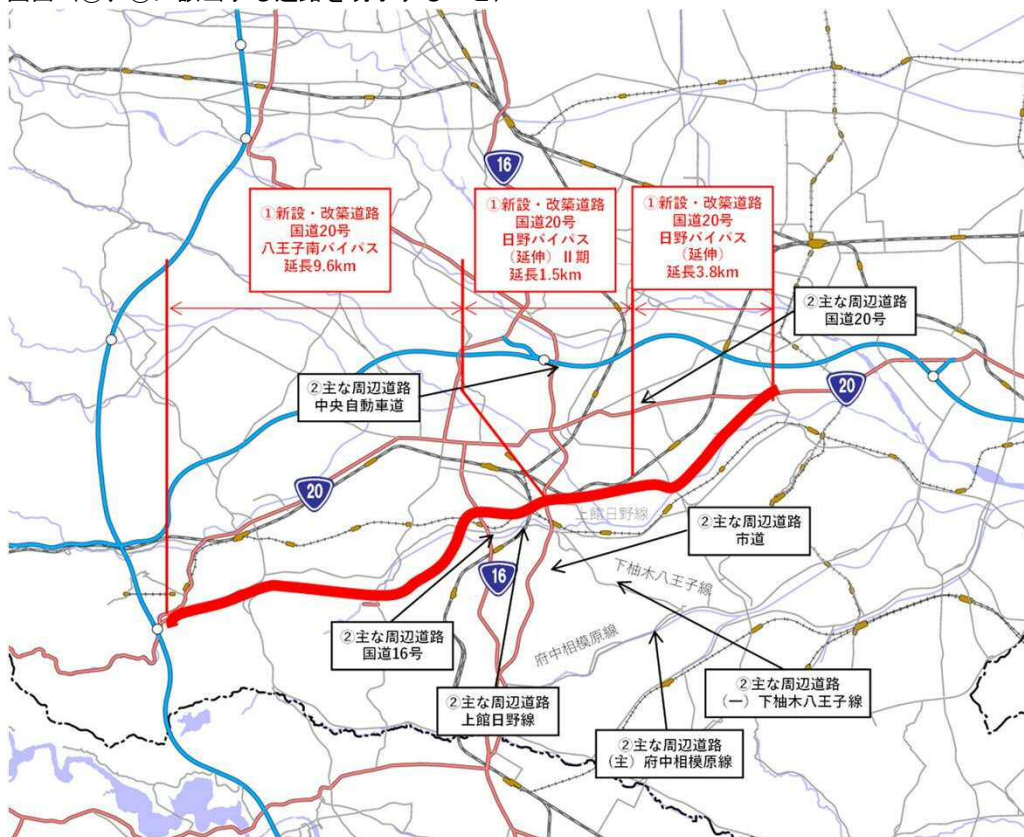
（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 14.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	16,000	30,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	2	17	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	6.98	98.71	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道20号 11.3km ②-1	交通量	[台/日]	28,500	21,000
		走行時間	[分]	26	25
		走行時間費用	[億円/年]	97.49	74.51
	国道16号 10.0km ②-2	交通量	[台/日]	30,100	25,000
		走行時間	[分]	29	28
		走行時間費用	[億円/年]	116.80	109.51
	(主)上館 日野線 7.7km ②-3	交通量	[台/日]	12,700	8,700
		走行時間	[分]	26	19
		走行時間費用	[億円/年]	55.22	27.53
	中央自動 車道 18.7km ②-4	交通量	[台/日]	49,900	48,100
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	146.72	137.95
	(主)府中 相模原線 8.2km ②-5	交通量	[台/日]	24,000	22,800
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	107.33	97.53
	市道 2.3km ②-6	交通量	[台/日]	13,100	9,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	15.35	12.18
(一)下柚 木八王子 線 3.1km ②-7	交通量	[台/日]	17,900	15,300	
	走行時間	[分]	9	9	
	走行時間費用	[億円/年]	25.37	23.18	
③その他道路 合計 2,396.7km	走行時間費用	[億円/年]	19,658.94	19,465.47	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,472.9km	走行時間短縮便益 [億円/年]	20,230.22	20,046.58	183.64

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：日野パパス（延伸）・日野パパス（延伸）Ⅱ期・八王子南パパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和4年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
箇所名: 日野バイパス(延伸)・日野バイパス(延伸)Ⅱ期・八王子南バイパス(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)			
				0.49	14.90	7.35			
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-36年目	H9	2.6658	114.2	0.50	1.18				
-35年目	H10	2.5633	113.6	23.73	54.56				
-34年目	H11	2.4647	112.0	17.83	39.97				
-33年目	H12	2.3699	110.7	26.79	58.44				
-32年目	H13	2.2788	109.4	20.44	43.39				
-31年目	H14	2.1911	107.6	32.64	67.74				
-30年目	H15	2.1068	106.1	25.12	50.82				
-29年目	H16	2.0258	105.0	40.31	79.25				
-28年目	H17	1.9479	103.7	43.94	84.10				
-27年目	H18	1.8730	103.0	101.24	187.59				
-26年目	H19	1.8009	102.1	113.78	204.51				
-25年目	H20	1.7317	101.6	78.69	136.67				
-24年目	H21	1.6651	100.3	69.55	117.66				
-23年目	H22	1.6010	98.6	50.09	82.88				
-22年目	H23	1.5395	97.2	39.23	63.32				
-21年目	H24	1.4802	96.4	56.87	88.98				
-20年目	H25	1.4233	96.4	33.07	49.76				
-19年目	H26	1.3686	98.7	33.59	47.46				
-18年目	H27	1.3159	100.2	39.36	52.67				
-17年目	H28	1.2653	100.3	75.85	97.51				
-16年目	H29	1.2167	100.5	83.22	102.66				
-15年目	H30	1.1699	100.4	75.94	90.17				
-14年目	R1	1.1249	101.2	93.68	106.11				
-13年目	R2	1.0816	101.9	92.98	100.57				
-12年目	R3	1.0400	101.9	101.18	105.22				
-11年目	R4	1.0000	101.9	93.88	93.88				
-10年目	R5	0.9615	101.9	118.15	113.60				
-9年目	R6	0.9246	101.9	130.31	120.48				
-8年目	R7	0.8890	101.9	126.93	112.84				
-7年目	R8	0.8548	101.9	181.57	155.20				
-6年目	R9	0.8219	101.9	130.84	107.54				
-5年目	R10	0.7903	101.9	134.84	106.56				
-4年目	R11	0.7599	101.9	137.00	104.11				
-3年目	R12	0.7307	101.9	75.45	55.13				
-2年目	R13	0.7026	101.9	63.27	44.46				
-1年目	R14	0.6756	101.9	48.58	32.82				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			6.68	4.34		
1年目	R16	0.6246	101.9			6.68	4.17		
2年目	R17	0.6006	101.9			6.68	4.01		
3年目	R18	0.5775	101.9			6.68	3.86		
4年目	R19	0.5553	101.9			6.68	3.71		
5年目	R20	0.5339	101.9			6.68	3.57		
6年目	R21	0.5134	101.9			6.68	3.43		
7年目	R22	0.4936	101.9			6.68	3.30		
8年目	R23	0.4746	101.9			6.68	3.17		
9年目	R24	0.4564	101.9			6.68	3.05		
10年目	R25	0.4388	101.9			6.68	2.93		
11年目	R26	0.4220	101.9			6.68	2.82		
12年目	R27	0.4057	101.9			6.68	2.71		
13年目	R28	0.3901	101.9			6.68	2.61		
14年目	R29	0.3751	101.9			6.68	2.51		
15年目	R30	0.3607	101.9			6.68	2.41		
16年目	R31	0.3468	101.9			6.68	2.32		
17年目	R32	0.3335	101.9			6.68	2.23		
18年目	R33	0.3207	101.9			6.68	2.14		
19年目	R34	0.3083	101.9			6.68	2.06		
20年目	R35	0.2965	101.9			6.68	1.98		
21年目	R36	0.2851	101.9			6.68	1.90		
22年目	R37	0.2741	101.9			6.68	1.83		
23年目	R38	0.2636	101.9			6.68	1.76		
24年目	R39	0.2534	101.9			6.68	1.69		
25年目	R40	0.2437	101.9			6.68	1.63		
26年目	R41	0.2343	101.9			6.68	1.57		
27年目	R42	0.2253	101.9			6.68	1.51		
28年目	R43	0.2166	101.9			6.68	1.45		
29年目	R44	0.2083	101.9			6.68	1.39		
30年目	R45	0.2003	101.9			6.68	1.34		
31年目	R46	0.1926	101.9			6.68	1.29		
32年目	R47	0.1852	101.9			6.68	1.24		
33年目	R48	0.1780	101.9			6.68	1.19		
34年目	R49	0.1712	101.9			6.68	1.14		
35年目	R50	0.1646	101.9			6.68	1.10		
36年目	R51	0.1583	101.9			6.68	1.06		
37年目	R52	0.1522	101.9			6.68	1.02		
38年目	R53	0.1463	101.9			6.68	0.98		
39年目	R54	0.1407	101.9			6.68	0.94		
40年目	R55	0.1353	101.9			6.68	0.90		
41年目	R56	0.1301	101.9			6.68	0.87		
42年目	R57	0.1251	101.9			6.68	0.84		
43年目	R58	0.1203	101.9			6.68	0.80		
44年目	R59	0.1157	101.9			6.68	0.77		
45年目	R60	0.1112	101.9			6.68	0.74		
46年目	R61	0.1069	101.9			6.68	0.71		
47年目	R62	0.1028	101.9			6.68	0.69		
48年目	R63	0.0989	101.9			6.68	0.66		
49年目	R64	0.0951	101.9	-649.94	-61.81	6.68	0.64		
合計				1,960.48	3,097.99	334.09	96.97		
単純事業費計				2,610.42		334.09			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:日野バイパス(延伸)・日野バイパス(延伸)Ⅱ期・八王子南バイパス(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.42	12.30	5.13

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	R5	0.9615	101.9	118.15	113.60				
-9年目	R6	0.9246	101.9	130.31	120.48				
-8年目	R7	0.8890	101.9	126.93	112.84				
-7年目	R8	0.8548	101.9	181.57	155.20				
-6年目	R9	0.8219	101.9	130.84	107.54				
-5年目	R10	0.7903	101.9	134.84	106.56				
-4年目	R11	0.7599	101.9	137.00	104.11				
-3年目	R12	0.7307	101.9	75.45	55.13				
-2年目	R13	0.7026	101.9	63.27	44.46				
-1年目	R14	0.6756	101.9	48.58	32.82				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			4.66	3.03		
1年目	R16	0.6246	101.9			4.66	2.91		
2年目	R17	0.6006	101.9			4.66	2.80		
3年目	R18	0.5775	101.9			4.66	2.69		
4年目	R19	0.5553	101.9			4.66	2.59		
5年目	R20	0.5339	101.9			4.66	2.49		
6年目	R21	0.5134	101.9			4.66	2.39		
7年目	R22	0.4936	101.9			4.66	2.30		
8年目	R23	0.4746	101.9			4.66	2.21		
9年目	R24	0.4564	101.9			4.66	2.13		
10年目	R25	0.4388	101.9			4.66	2.05		
11年目	R26	0.4220	101.9			4.66	1.97		
12年目	R27	0.4057	101.9			4.66	1.89		
13年目	R28	0.3901	101.9			4.66	1.82		
14年目	R29	0.3751	101.9			4.66	1.75		
15年目	R30	0.3607	101.9			4.66	1.68		
16年目	R31	0.3468	101.9			4.66	1.62		
17年目	R32	0.3335	101.9			4.66	1.56		
18年目	R33	0.3207	101.9			4.66	1.50		
19年目	R34	0.3083	101.9			4.66	1.44		
20年目	R35	0.2965	101.9			4.66	1.38		
21年目	R36	0.2851	101.9			4.66	1.33		
22年目	R37	0.2741	101.9			4.66	1.28		
23年目	R38	0.2636	101.9			4.66	1.23		
24年目	R39	0.2534	101.9			4.66	1.18		
25年目	R40	0.2437	101.9			4.66	1.14		
26年目	R41	0.2343	101.9			4.66	1.09		
27年目	R42	0.2253	101.9			4.66	1.05		
28年目	R43	0.2166	101.9			4.66	1.01		
29年目	R44	0.2083	101.9			4.66	0.97		
30年目	R45	0.2003	101.9			4.66	0.93		
31年目	R46	0.1926	101.9			4.66	0.90		
32年目	R47	0.1852	101.9			4.66	0.86		
33年目	R48	0.1780	101.9			4.66	0.83		
34年目	R49	0.1712	101.9			4.66	0.80		
35年目	R50	0.1646	101.9			4.66	0.77		
36年目	R51	0.1583	101.9			4.66	0.74		
37年目	R52	0.1522	101.9			4.66	0.71		
38年目	R53	0.1463	101.9			4.66	0.68		
39年目	R54	0.1407	101.9			4.66	0.66		
40年目	R55	0.1353	101.9			4.66	0.63		
41年目	R56	0.1301	101.9			4.66	0.61		
42年目	R57	0.1251	101.9			4.66	0.58		
43年目	R58	0.1203	101.9			4.66	0.56		
44年目	R59	0.1157	101.9			4.66	0.54		
45年目	R60	0.1112	101.9			4.66	0.52		
46年目	R61	0.1069	101.9			4.66	0.50		
47年目	R62	0.1028	101.9			4.66	0.48		
48年目	R63	0.0989	101.9			4.66	0.46		
49年目	R64	0.0951	101.9	-164.94	-15.69	4.66	0.44		
合計				981.99	937.05	233.18	67.68		
単純事業費計				1,146.93		233.18			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野ハイパス(延伸)・ 日野ハイパス(延伸)Ⅱ期・ 八王子南ハイパス	4	14.9km

■事業費内訳(事業全体費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				169,495	
	改良費		式	1	63,919	
		土工	m ³	6,654,586	22,814	
		軟弱地盤改良工	m ³	85,276	1,056	
		法面工	m ²	69,712	190	
		擁壁工	式	3	6,930	
		管渠工	m	3,741	160	
		函渠工	m	6,442	15,484	
		排水工	m	51,569	1,308	
		中央分離帯工	m	9,874	1,112	
	雑工	式	1	14,865	埋文調査、調整池	
	橋梁費		式	1	17,034	
		100m以上	m	1,617	15,307	
		100m未満	m	30	1,727	
	トンネル費		式	1	72,562	
		開削	m	2,437	30,862	
		NATM	m	1,830	15,000	
		シールド	m	560	26,700	
	IC・JCT費					
		IC				
	JCT					
	舗装費		式	1	3,677	
		車道舗装	m ²	328,594	3,402	
		歩道舗装	m ²	99,974	276	
	附帯施設費		式	1	12,302	
		交通管理施設工	式	1	30	
		遮音壁	m	4,758	3,072	
		電線共同溝	m	10,000	9,200	
②	用地及補償費		式	1	81,536	
	用地費		m ²	496,750	64,994	
		宅地	m ²	267,907	55,894	
		田畑	m ²	65,943	8,367	
		山林・原野	m ²	162,900	565	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	16,541	
③	間接経費		式	1	27,217	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				278,248	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野ハイパス(延伸)・ 日野ハイパス(延伸)Ⅱ期・ 八王子南ハイパス	4	12.3km

■事業費内訳(残事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				89,535	
	改良費		式	1	37,944	
		土工	m ³	4,016,100	13,821	
		軟弱地盤改良工	m ³	79,776	963	
		法面工	m ²	23,990	65	
		擁壁工	式	3	3,645	
		管渠工	m	3,741	160	
		函渠工	m	6,260	14,141	
		排水工	m	8,430	232	
		中央分離帯工	m	6,150	1,014	
		雑工	式	1	3,903	埋文調査、調整池
	橋梁費		式	1	7,248	
		100m以上	m	1,617	5,748	
		100m未満	m	30	1,500	
	トンネル費		式	1	34,422	
		開削	m	2,437	13,948	
		NATM	m			
		シールド	m	560	20,474	
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	2,261	
		車道舗装	m ²	212,859	2,098	
		歩道舗装	m ²	76,774	163	
	附帯施設費		式	1	7,659	
		交通管理施設工	式	1	15	
		遮音壁	m	4,758	2,559	
		電線共同溝	m	10,000	5,085	
②	用地及補償費		式	1	21,912	
	用地費		m ²	81,026	16,494	
		宅地	m ²	55,817	12,792	
		田畑	m ²	21,905	3,526	
		山林・原野	m ²	3,304	11	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	5,418	
③	間接経費		式	1	13,066	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				124,513	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)・ 日野バイパス(延伸)Ⅱ期・ 八王子南バイパス	4	14.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	14.9	6,400	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	30,350	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			36,750	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)・ 日野バイパス(延伸)Ⅱ期・ 八王子南バイパス	4	12.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	12.3	5,250	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	20,400	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			25,650	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道20号	日野バイパス (延伸)	L=3.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
28,800~39,600	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	324億円	77億円		402億円
うち残事業分	28億円	25億円		53億円
基準年における 現在価値 (C)	437億円	22億円		459億円
うち残事業分	24億円	7億円		32億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	令和15年度			
単年便益 (初年便益)	45億円	1.7億円	0.56億円	47億円
基準年における 現在価値 (B)	573億円	21億円	7.3億円	601億円
うち残事業分	573億円	21億円	7.3億円	601億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	1.3
経済的純現在価値 (B-C)	142億円
経済的内部収益率 (EIRR)	4.8%
費用便益比 (残事業)	18.9
経済的純現在価値 (残事業)	570億円
経済的内部収益率 (残事業)	27.8%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	28,800~39,600 (台/日)	±10%	1.2~1.4
事業費	324億円	±10%	1.3~1.3
事業期間	28年	±20%	1.2~1.4

④ 感度分析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	28,800~39,600 (台/日)	±10%	17.3~20.7
事業費	28億円	±10%	17.6~20.5
事業期間	10年	±20%	17.5~20.0

交通状況の変化

様式-3①

事業名：日野バイパス（延伸）（事業全体・残事業）

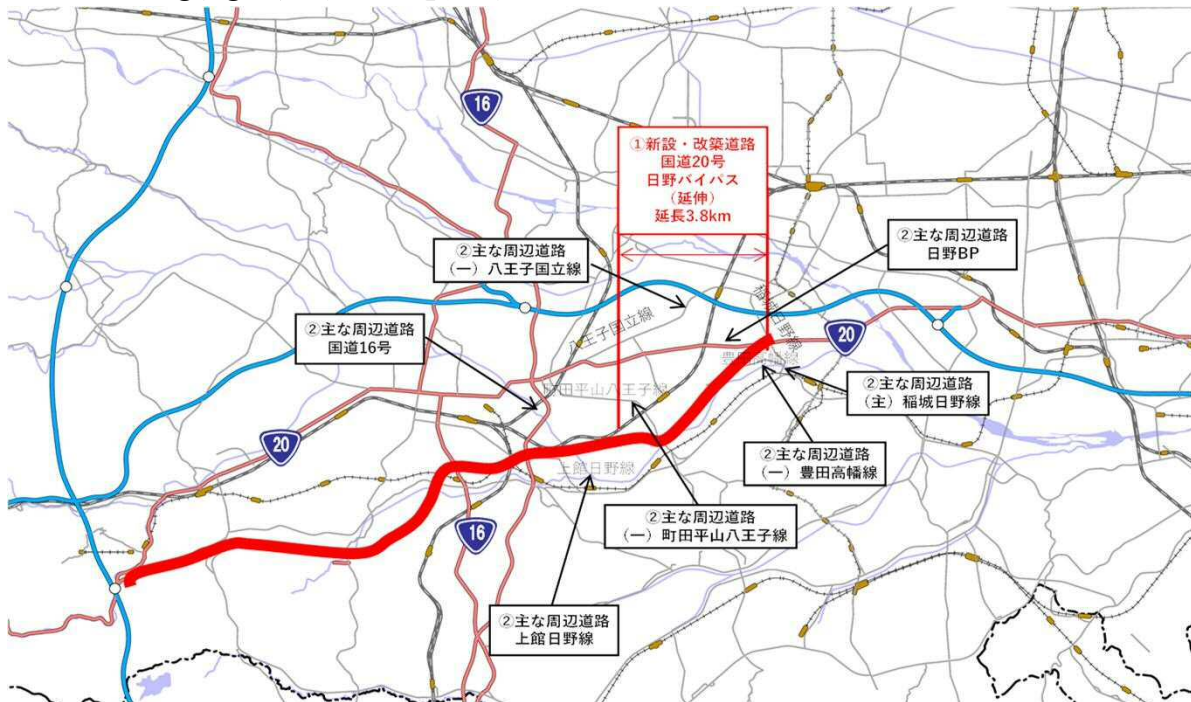
（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 3.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	32,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	27.08	
②主な周辺道路 ^{※4}	日野BP 5.1km ②-1	交通量	[台/日]	29,400	24,500
		走行時間	[分]	18	12
		走行時間費用	[億円/年]	56.07	44.06
	国道16号 1.5km ②-2	交通量	[台/日]	24,400	23,800
		走行時間	[分]	9	4
		走行時間費用	[億円/年]	24.69	23.40
	(主)稲城 日野線 1.9km ②-3	交通量	[台/日]	16,200	11,100
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	8.52	6.55
	(一)上館 日野線 2.8km ②-4	交通量	[台/日]	10,800	9,800
		走行時間	[分]	10	8
		走行時間費用	[億円/年]	21.83	13.47
	(一)豊田 高幡線 1.1km ②-5	交通量	[台/日]	8,900	7,000
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	5.83	3.67
	(一)八王 子国立線 2.1km ②-6	交通量	[台/日]	9,500	7,600
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	6.36	4.18
	(一)町田 平山八王 子線 1.9km ②-7	交通量	[台/日]	18,600	12,600
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	15.49	11.18
③その他道路 合計 1,872.8km	走行時間費用	[億円/年]	15,510.25	15,472.04	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,893.0km	走行時間短縮便益 [億円/年]	15,649.03	15,605.63	43.40

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：日野バイパス（延伸）

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和4年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
配分交通量の推計手法	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
その他()	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()		<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:日野バイパス(延伸)(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.45	3.8	1.70

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-28年目	H17	1.9479	103.7	0.48	0.91				
-27年目	H18	1.8730	103.0	51.92	96.20				
-26年目	H19	1.8009	102.1	16.96	30.48				
-25年目	H20	1.7317	101.6	16.12	27.99				
-24年目	H21	1.6651	100.3	10.23	17.31				
-23年目	H22	1.6010	98.6	7.98	13.21				
-22年目	H23	1.5395	97.2	6.65	10.74				
-21年目	H24	1.4802	96.4	16.54	25.88				
-20年目	H25	1.4233	96.4	11.87	17.86				
-19年目	H26	1.3686	98.7	11.66	16.48				
-18年目	H27	1.3159	100.2	11.55	15.45				
-17年目	H28	1.2653	100.3	24.35	31.30				
-16年目	H29	1.2167	100.5	20.12	24.82				
-15年目	H30	1.1699	100.4	15.52	18.43				
-14年目	R1	1.1249	101.2	18.79	21.28				
-13年目	R2	1.0816	101.9	18.25	19.74				
-12年目	R3	1.0400	101.9	18.68	19.43				
-11年目	R4	1.0000	101.9	18.67	18.67				
-10年目	R5	0.9615	101.9	10.91	10.49				
-9年目	R6	0.9246	101.9	4.55	4.20				
-8年目	R7	0.8890	101.9	0.91	0.81				
-7年目	R8	0.8548	101.9	0.91	0.78				
-6年目	R9	0.8219	101.9	0.91	0.75				
-5年目	R10	0.7903	101.9	2.73	2.16				
-4年目	R11	0.7599	101.9	3.64	2.76				
-3年目	R12	0.7307	101.9	0.91	0.66				
-2年目	R13	0.7026	101.9	0.91	0.64				
-1年目	R14	0.6756	101.9	1.67	1.13				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			1.55	1.00		
1年目	R16	0.6246	101.9			1.55	0.97		
2年目	R17	0.6006	101.9			1.55	0.93		
3年目	R18	0.5775	101.9			1.55	0.89		
4年目	R19	0.5553	101.9			1.55	0.86		
5年目	R20	0.5339	101.9			1.55	0.83		
6年目	R21	0.5134	101.9			1.55	0.79		
7年目	R22	0.4936	101.9			1.55	0.76		
8年目	R23	0.4746	101.9			1.55	0.73		
9年目	R24	0.4564	101.9			1.55	0.71		
10年目	R25	0.4388	101.9			1.55	0.68		
11年目	R26	0.4220	101.9			1.55	0.65		
12年目	R27	0.4057	101.9			1.55	0.63		
13年目	R28	0.3901	101.9			1.55	0.60		
14年目	R29	0.3751	101.9			1.55	0.58		
15年目	R30	0.3607	101.9			1.55	0.56		
16年目	R31	0.3468	101.9			1.55	0.54		
17年目	R32	0.3335	101.9			1.55	0.52		
18年目	R33	0.3207	101.9			1.55	0.50		
19年目	R34	0.3083	101.9			1.55	0.48		
20年目	R35	0.2965	101.9			1.55	0.46		
21年目	R36	0.2851	101.9			1.55	0.44		
22年目	R37	0.2741	101.9			1.55	0.42		
23年目	R38	0.2636	101.9			1.55	0.41		
24年目	R39	0.2534	101.9			1.55	0.39		
25年目	R40	0.2437	101.9			1.55	0.38		
26年目	R41	0.2343	101.9			1.55	0.36		
27年目	R42	0.2253	101.9			1.55	0.35		
28年目	R43	0.2166	101.9			1.55	0.33		
29年目	R44	0.2083	101.9			1.55	0.32		
30年目	R45	0.2003	101.9			1.55	0.31		
31年目	R46	0.1926	101.9			1.55	0.30		
32年目	R47	0.1852	101.9			1.55	0.29		
33年目	R48	0.1780	101.9			1.55	0.28		
34年目	R49	0.1712	101.9			1.55	0.26		
35年目	R50	0.1646	101.9			1.55	0.25		
36年目	R51	0.1583	101.9			1.55	0.24		
37年目	R52	0.1522	101.9			1.55	0.24		
38年目	R53	0.1463	101.9			1.55	0.23		
39年目	R54	0.1407	101.9			1.55	0.22		
40年目	R55	0.1353	101.9			1.55	0.21		
41年目	R56	0.1301	101.9			1.55	0.20		
42年目	R57	0.1251	101.9			1.55	0.19		
43年目	R58	0.1203	101.9			1.55	0.19		
44年目	R59	0.1157	101.9			1.55	0.18		
45年目	R60	0.1112	101.9			1.55	0.17		
46年目	R61	0.1069	101.9			1.55	0.17		
47年目	R62	0.1028	101.9			1.55	0.16		
48年目	R63	0.0989	101.9			1.55	0.15		
49年目	R64	0.0951	101.9	-142.11	-13.51	1.55	0.15		
合計				182.25	437.03	77.27	22.43		
単純事業費計				324.36		77.27			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:日野バイパス(延伸)(残事業)

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値	単価(億円)	現在価値
-10年目	H 35	R5	0.9615	101.9	10.91	10.49				
-9年目	H 36	R6	0.9246	101.9	4.55	4.20				
-8年目	H 37	R7	0.8890	101.9	0.91	0.81				
-7年目	H 38	R8	0.8548	101.9	0.91	0.78				
-6年目	H 39	R9	0.8219	101.9	0.91	0.75				
-5年目	H 40	R10	0.7903	101.9	2.73	2.16				
-4年目	H 41	R11	0.7599	101.9	3.64	2.76				
-3年目	H 42	R12	0.7307	101.9	0.91	0.66				
-2年目	H 43	R13	0.7026	101.9	0.91	0.64				
-1年目	H 44	R14	0.6756	101.9	1.67	1.13				
供用開始年度	H 45	R15	0.6496	101.9			0.51	0.33		
1年目	H 46	R16	0.6246	101.9			0.51	0.32		
2年目	H 47	R17	0.6006	101.9			0.51	0.31		
3年目	H 48	R18	0.5775	101.9			0.51	0.29		
4年目	H 49	R19	0.5553	101.9			0.51	0.28		
5年目	H 50	R20	0.5339	101.9			0.51	0.27		
6年目	H 51	R21	0.5134	101.9			0.51	0.26		
7年目	H 52	R22	0.4936	101.9			0.51	0.25		
8年目	H 53	R23	0.4746	101.9			0.51	0.24		
9年目	H 54	R24	0.4564	101.9			0.51	0.23		
10年目	H 55	R25	0.4388	101.9			0.51	0.22		
11年目	H 56	R26	0.4220	101.9			0.51	0.21		
12年目	H 57	R27	0.4057	101.9			0.51	0.21		
13年目	H 58	R28	0.3901	101.9			0.51	0.20		
14年目	H 59	R29	0.3751	101.9			0.51	0.19		
15年目	H 60	R30	0.3607	101.9			0.51	0.18		
16年目	H 61	R31	0.3468	101.9			0.51	0.18		
17年目	H 62	R32	0.3335	101.9			0.51	0.17		
18年目	H 63	R33	0.3207	101.9			0.51	0.16		
19年目	H 64	R34	0.3083	101.9			0.51	0.16		
20年目	H 65	R35	0.2965	101.9			0.51	0.15		
21年目	H 66	R36	0.2851	101.9			0.51	0.15		
22年目	H 67	R37	0.2741	101.9			0.51	0.14		
23年目	H 68	R38	0.2636	101.9			0.51	0.13		
24年目	H 69	R39	0.2534	101.9			0.51	0.13		
25年目	H 70	R40	0.2437	101.9			0.51	0.12		
26年目	H 71	R41	0.2343	101.9			0.51	0.12		
27年目	H 72	R42	0.2253	101.9			0.51	0.11		
28年目	H 73	R43	0.2166	101.9			0.51	0.11		
29年目	H 74	R44	0.2083	101.9			0.51	0.11		
30年目	H 75	R45	0.2003	101.9			0.51	0.10		
31年目	H 76	R46	0.1926	101.9			0.51	0.10		
32年目	H 77	R47	0.1852	101.9			0.51	0.09		
33年目	H 78	R48	0.1780	101.9			0.51	0.09		
34年目	H 79	R49	0.1712	101.9			0.51	0.09		
35年目	H 80	R50	0.1646	101.9			0.51	0.08		
36年目	H 81	R51	0.1583	101.9			0.51	0.08		
37年目	H 82	R52	0.1522	101.9			0.51	0.08		
38年目	H 83	R53	0.1463	101.9			0.51	0.07		
39年目	H 84	R54	0.1407	101.9			0.51	0.07		
40年目	H 85	R55	0.1353	101.9			0.51	0.07		
41年目	H 86	R56	0.1301	101.9			0.51	0.07		
42年目	H 87	R57	0.1251	101.9			0.51	0.06		
43年目	H 88	R58	0.1203	101.9			0.51	0.06		
44年目	H 89	R59	0.1157	101.9			0.51	0.06		
45年目	H 90	R60	0.1112	101.9			0.51	0.06		
46年目	H 91	R61	0.1069	101.9			0.51	0.05		
47年目	H 92	R62	0.1028	101.9			0.51	0.05		
48年目	H 93	R63	0.0989	101.9			0.51	0.05		
49年目	H 94	R64	0.0951	101.9	0.00	0.00	0.51	0.05		
合計					28.03	24.37	25.45	7.39		
単純事業費計					28.03		25.45			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)	4	3.8km

■事業費内訳(事業全体費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				12,036	
	改良費		式		6,792	
		土工	m ³	146,700	345	
		軟弱地盤改良工	m ³	55,000	934	
		法面工	m ²			
		擁壁工	式	1	16	
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	9,840	283	
		中央分離帯工	m	5,240	136	
		雑工	式	1	5,078	埋文調査
	橋梁費		式			
		100m以上	m			
		100m未満	m			
	トンネル費		式			
		開削	m			
		NATM	m			
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	1,044	
		車道舗装	m ²	73,550	935	
		歩道舗装	m ²	25,200	109	
	附帯施設費		式	1	4,200	
		交通管理施設工	式			
		遮音壁	m			
		電線共同溝	m	7,600	4,200	
②	用地及補償費			1	18,600	
	用地費		m ²	97,765	14,211	
		宅地	m ²	79,872	11,902	
		田畑	m ²	17,893	2,309	
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式	1	4,389	
③	間接経費		式	1	3,364	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				34,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)	4	3.8km

■事業費内訳(残事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					2,371	
	改良費		式		2,251	
		土工	m3	5,000	12	
		軟弱地盤改良工	m3	49,500	841	
		法面工	m2			
		擁壁工	式	1	5	
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	2,790	80	
		中央分離帯工	m	1,610	42	
		雑工	式	1	1,271	埋文調査
	橋梁費		式			
		100m以上	m			
		100m未満	m			
	トンネル費		式			
		開削	m			
		NATM	m			
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	35	
		車道舗装	m2	2,200	27	
		歩道舗装	m2	2,000	8	
	附帯施設費		式	1	85	
		交通管理施設工	式			
		遮音壁	m			
		電線共同溝	m	155	85	
②用地及補償費						
	用地費		m2			
		宅地	m2			
		田畑	m2			
		山林・原野	m2			
		その他	m2			
	補償費		式	1		
③間接経費					713	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					3,084	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)	4	3.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	3.8	1,600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,900	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,500	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)	4	3.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	3.8	1,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			2,800	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道20号	日野バイパス (延伸)Ⅱ期	L=1.5km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
25,300~37,800	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	278億円	35億円		312億円
うち残事業分	267億円	35億円		301億円
基準年における 現在価値 (C)	224億円	10億円		234億円
うち残事業分	213億円	10億円		223億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	令和15年度			
単年便益 (初年便益)	34億円	1.5億円	0.38億円	36億円
基準年における 現在価値 (B)	446億円	20億円	5.0億円	471億円
うち残事業分	446億円	20億円	5.0億円	471億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	2.0
経済的純現在価値 (B-C)	236億円
経済的内部収益率 (EIRR)	7.9%
費用便益比 (残事業)	2.1
経済的純現在価値 (残事業)	247億円
経済的内部収益率 (残事業)	8.3%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	25,300~37,800 (台/日)	±10%	1.7~2.3
事業費	278億円	±10%	1.8~2.2
事業期間	16年	±20%	1.8~2.1

④ 感度分析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	25,300~37,800 (台/日)	±10%	1.8~2.4
事業費	267億円	±10%	1.8~2.3
事業期間	10年	±20%	1.9~2.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名：日野バイパス（延伸）Ⅱ期（事業全体・残事業）

（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 1.5km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	30,200	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	17.34	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道20号 1.6km ②-1	交通量	[台/日]	45,200	36,200
		走行時間	[分]	4	3
		走行時間費用	[億円/年]	25.31	17.11
	(一)上館日野線 4.7km ②-2	交通量	[台/日]	9,900	9,400
		走行時間	[分]	16	14
		走行時間費用	[億円/年]	39.68	25.14
	国道16号 3.4km ②-3	交通量	[台/日]	43,500	41,600
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	56.75	45.49
	(一)下柚木八王子線 3.1km ②-4	交通量	[台/日]	20,200	17,400
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	27.78	23.18
	市道 3.1km ②-5	交通量	[台/日]	10,800	9,800
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	17.58	16.35
③その他道路 合計 1,875.6km	走行時間費用	[億円/年]	15,472.07	15,461.02	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,893.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	15,639.17	15,605.63	33.54

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

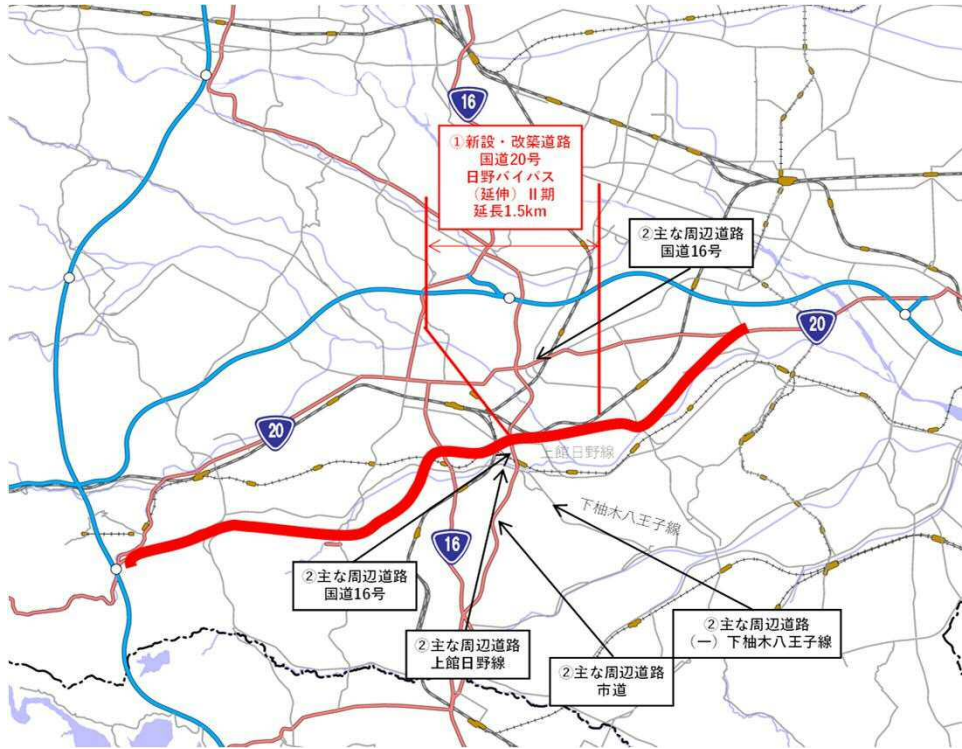
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：日野バイパス（延伸）Ⅱ期

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和4年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

箇所名:日野バイパス(延伸)Ⅱ期(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-16年目	H29	1.2167	100.5	0.46	0.57				
-15年目	H30	1.1699	100.4	0.93	1.10				
-14年目	R1	1.1249	101.2	1.84	2.08				
-13年目	R2	1.0816	101.9	1.85	2.00				
-12年目	R3	1.0400	101.9	2.76	2.87				
-11年目	R4	1.0000	101.9	2.78	2.78				
-10年目	R5	0.9615	101.9	2.78	2.67				
-9年目	R6	0.9246	101.9	19.94	18.43				
-8年目	R7	0.8890	101.9	36.29	32.26				
-7年目	R8	0.8548	101.9	59.02	50.45				
-6年目	R9	0.8219	101.9	37.20	30.58				
-5年目	R10	0.7903	101.9	32.66	25.81				
-4年目	R11	0.7599	101.9	31.82	24.18				
-3年目	R12	0.7307	101.9	16.36	11.96				
-2年目	R13	0.7026	101.9	15.45	10.86				
-1年目	R14	0.6756	101.9	15.43	10.42				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			0.69	0.45		
1年目	R16	0.6246	101.9			0.69	0.43		
2年目	R17	0.6006	101.9			0.69	0.41		
3年目	R18	0.5775	101.9			0.69	0.40		
4年目	R19	0.5553	101.9			0.69	0.38		
5年目	R20	0.5339	101.9			0.69	0.37		
6年目	R21	0.5134	101.9			0.69	0.35		
7年目	R22	0.4936	101.9			0.69	0.34		
8年目	R23	0.4746	101.9			0.69	0.33		
9年目	R24	0.4564	101.9			0.69	0.32		
10年目	R25	0.4388	101.9			0.69	0.30		
11年目	R26	0.4220	101.9			0.69	0.29		
12年目	R27	0.4057	101.9			0.69	0.28		
13年目	R28	0.3901	101.9			0.69	0.27		
14年目	R29	0.3751	101.9			0.69	0.26		
15年目	R30	0.3607	101.9			0.69	0.25		
16年目	R31	0.3468	101.9			0.69	0.24		
17年目	R32	0.3335	101.9			0.69	0.23		
18年目	R33	0.3207	101.9			0.69	0.22		
19年目	R34	0.3083	101.9			0.69	0.21		
20年目	R35	0.2965	101.9			0.69	0.20		
21年目	R36	0.2851	101.9			0.69	0.20		
22年目	R37	0.2741	101.9			0.69	0.19		
23年目	R38	0.2636	101.9			0.69	0.18		
24年目	R39	0.2534	101.9			0.69	0.18		
25年目	R40	0.2437	101.9			0.69	0.17		
26年目	R41	0.2343	101.9			0.69	0.16		
27年目	R42	0.2253	101.9			0.69	0.16		
28年目	R43	0.2166	101.9			0.69	0.15		
29年目	R44	0.2083	101.9			0.69	0.14		
30年目	R45	0.2003	101.9			0.69	0.14		
31年目	R46	0.1926	101.9			0.69	0.13		
32年目	R47	0.1852	101.9			0.69	0.13		
33年目	R48	0.1780	101.9			0.69	0.12		
34年目	R49	0.1712	101.9			0.69	0.12		
35年目	R50	0.1646	101.9			0.69	0.11		
36年目	R51	0.1583	101.9			0.69	0.11		
37年目	R52	0.1522	101.9			0.69	0.11		
38年目	R53	0.1463	101.9			0.69	0.10		
39年目	R54	0.1407	101.9			0.69	0.10		
40年目	R55	0.1353	101.9			0.69	0.09		
41年目	R56	0.1301	101.9			0.69	0.09		
42年目	R57	0.1251	101.9			0.69	0.09		
43年目	R58	0.1203	101.9			0.69	0.08		
44年目	R59	0.1157	101.9			0.69	0.08		
45年目	R60	0.1112	101.9			0.69	0.08		
46年目	R61	0.1069	101.9			0.69	0.07		
47年目	R62	0.1028	101.9			0.69	0.07		
48年目	R63	0.0989	101.9			0.69	0.07		
49年目	R64	0.0951	101.9			0.69	0.07		
合計				229.24	224.43	34.55	10.03		
単純事業費計				277.57		34.55			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名: 日野バイパス(延伸)Ⅱ期(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.51	1.5	0.76			
-10年目	R5	0.9615	101.9	2.78	2.67				
-9年目	R6	0.9246	101.9	19.94	18.43				
-8年目	R7	0.8890	101.9	36.29	32.26				
-7年目	R8	0.8548	101.9	59.02	50.45				
-6年目	R9	0.8219	101.9	37.20	30.58				
-5年目	R10	0.7903	101.9	32.66	25.81				
-4年目	R11	0.7599	101.9	31.82	24.18				
-3年目	R12	0.7307	101.9	16.36	11.96				
-2年目	R13	0.7026	101.9	15.45	10.86				
-1年目	R14	0.6756	101.9	15.43	10.42				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			0.69	0.45		
1年目	R16	0.6246	101.9			0.69	0.43		
2年目	R17	0.6006	101.9			0.69	0.41		
3年目	R18	0.5775	101.9			0.69	0.40		
4年目	R19	0.5553	101.9			0.69	0.38		
5年目	R20	0.5339	101.9			0.69	0.37		
6年目	R21	0.5134	101.9			0.69	0.35		
7年目	R22	0.4936	101.9			0.69	0.34		
8年目	R23	0.4746	101.9			0.69	0.33		
9年目	R24	0.4564	101.9			0.69	0.32		
10年目	R25	0.4388	101.9			0.69	0.30		
11年目	R26	0.4220	101.9			0.69	0.29		
12年目	R27	0.4057	101.9			0.69	0.28		
13年目	R28	0.3901	101.9			0.69	0.27		
14年目	R29	0.3751	101.9			0.69	0.26		
15年目	R30	0.3607	101.9			0.69	0.25		
16年目	R31	0.3468	101.9			0.69	0.24		
17年目	R32	0.3335	101.9			0.69	0.23		
18年目	R33	0.3207	101.9			0.69	0.22		
19年目	R34	0.3083	101.9			0.69	0.21		
20年目	R35	0.2965	101.9			0.69	0.20		
21年目	R36	0.2851	101.9			0.69	0.20		
22年目	R37	0.2741	101.9			0.69	0.19		
23年目	R38	0.2636	101.9			0.69	0.18		
24年目	R39	0.2534	101.9			0.69	0.18		
25年目	R40	0.2437	101.9			0.69	0.17		
26年目	R41	0.2343	101.9			0.69	0.16		
27年目	R42	0.2253	101.9			0.69	0.16		
28年目	R43	0.2166	101.9			0.69	0.15		
29年目	R44	0.2083	101.9			0.69	0.14		
30年目	R45	0.2003	101.9			0.69	0.14		
31年目	R46	0.1926	101.9			0.69	0.13		
32年目	R47	0.1852	101.9			0.69	0.13		
33年目	R48	0.1780	101.9			0.69	0.12		
34年目	R49	0.1712	101.9			0.69	0.12		
35年目	R50	0.1646	101.9			0.69	0.11		
36年目	R51	0.1583	101.9			0.69	0.11		
37年目	R52	0.1522	101.9			0.69	0.11		
38年目	R53	0.1463	101.9			0.69	0.10		
39年目	R54	0.1407	101.9			0.69	0.10		
40年目	R55	0.1353	101.9			0.69	0.09		
41年目	R56	0.1301	101.9			0.69	0.09		
42年目	R57	0.1251	101.9			0.69	0.09		
43年目	R58	0.1203	101.9			0.69	0.08		
44年目	R59	0.1157	101.9			0.69	0.08		
45年目	R60	0.1112	101.9			0.69	0.08		
46年目	R61	0.1069	101.9			0.69	0.07		
47年目	R62	0.1028	101.9			0.69	0.07		
48年目	R63	0.0989	101.9			0.69	0.07		
49年目	R64	0.0951	101.9	-46.79	-4.45	0.69	0.07		
合計				220.16	213.17	34.55	10.03		
単純事業費計				266.95		34.55			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス（延伸）Ⅱ期	4	1.5km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					15,834	
改良費					1,460	
		土工	m3	47,900	62	切土(20,100m3)、盛土(26,600m3)、残土処理(20,100m3)
		軟弱地盤改良工	m	22,000	88	路床改良工
		擁壁工	m2	1	102	補強土壁314m、重力式擁壁83m
		函渠工	式	26	82	1基(8.5×7.0)
		排水工	式	4,360	118	
		中央分離帯工	m	1,300	47	
		電線共同溝	m	2,600	910	
		雑工	式	1	52	車道分離工、歩車道境界ブロック、地先境界ブロック
橋梁費					1,468	
		100m以上	m	167	1,468	3径間連続鋼細箱桁橋140.1m、単純鋼床版I桁橋27.6m
		100m未満	m			
トンネル費					12,114	
		NATM	m			
		シールド	m			
		開削工	m	797	12,114	
I C・J C T費						
		I C	箇所			
		J C T	箇所			
舗装費					562	
		車道舗装	m2	34,000	488	本線、側道、副道
		歩道舗装	m2	14,900	75	
付帯施設費					230	
		遮音壁	m	1,970	230	路肩側H=1.0m 1020m H=4.0m 260m H=5.0m 180m 中分側H=2.5m 510m
②用地及補償費					9,935	
用地費			m2	28,535	4,833	
		宅地	m2	6,085	1,039	
		田畑	m2	22,450	3,626	
		山林・原野	m2			
		その他	m2		169	
補償費			式	1	5,102	
③間接費			式	1	4,278	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					30,047	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス（延伸）Ⅱ期	4	1.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,834	
	改良費				1,460	
		土工	m3	47,900	62	切土(20,100m3)、盛土(26,600m3)、残土処理(20,100m3)
		軟弱地盤改良工	m	22,000	88	路床改良工
		擁壁工	m2	1	102	補強土壁314m、重力式擁壁83m
		函渠工	式	26	82	1基(8.5×7.0)
		排水工	式	4,360	118	
		中央分離帯工	m	1,300	47	
		電線共同溝	m	2,600	910	
		雑工	式	1	52	車道分離工、歩車道境界ブロック、地先境界ブロック
	橋梁費				1,468	
		100m以上	m	167	1,468	3径間連続鋼細幅箱桁橋140.1m、単純鋼床版I桁橋27.6m
		100m未満	m			
	トンネル費				12,114	
		NATM	m			
		シールド	m			
		開削工	m	797	12,114	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				562	
		車道舗装	m2	34,000	488	本線、側道、副道
		歩道舗装	m2	14,900	75	
	付帯施設費				230	
		遮音壁	m	1,970	230	路肩側H=1.0m 1020m H=4.0m 260m H=5.0m 180m 中分側H=2.5m 510m
②	用地及補償費				9,618	
	用地費		m2	27,613	4,679	
		宅地	m2	5,888	1,005	
		田畑	m2	21,725	3,509	
		山林・原野	m2		0	
		その他	m2		165	
	補償費		式	1	4,939	
③	間接費		式	1	3,445	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				28,897	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)Ⅱ期	4	1.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.5	650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,150	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,800	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	日野バイパス(延伸)Ⅱ期	4	1.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.5	650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,150	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,800	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道20号	八王子南バイパス	L=9.6km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,500~41,300	4	関東地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和4年度			
単純合計	2,008億円	222億円		2,231億円
うち残事業分	852億円	174億円		1,026億円
基準年における 現在価値 (C)	2,437億円	65億円		2,501億円
うち残事業分	700億円	50億円		750億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和4年度			
供用年	令和15年度			
単年便益 (初年便益)	180億円	3.8億円	1.2億円	185億円
基準年における 現在価値 (B)	2,348億円	50億円	16億円	2,414億円
うち残事業分	1,378億円	32億円	10億円	1,420億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	0.97
経済的純現在価値 (B-C)	-87億円
経済的内部収益率 (EIRR)	3.9%
費用便益比 (残事業)	1.9
経済的純現在価値 (残事業)	670億円
経済的内部収益率 (残事業)	7.6%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	20,500~41,300 (台/日)	±10%	0.9~1.1
事業費	2,008億円	±10%	0.9~0.99
事業期間	36年	±20%	0.9~1.1

④ 感度分析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	20,500~41,300 (台/日)	±10%	1.8~2.2
事業費	852億円	±10%	1.6~2.3
事業期間	10年	±20%	1.7~2.0

交通状況の変化

様式－3①

事業名：八王子南バイパス（事業全体）

（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 9.6km	交通量※ ¹	[台/日]	—	30,400	
	走行時間※ ²	[分]	—	10	
	走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	54.30	
②主な周辺道路※ ⁴	国道20号 10.3km ②-1	交通量	[台/日]	21,600	16,300
		走行時間	[分]	30	22
		走行時間費用	[億円/年]	106.52	61.51
	上館日野 線 6.8km ②-2	交通量	[台/日]	14,000	9,400
		走行時間	[分]	21	17
		走行時間費用	[億円/年]	36.70	25.01
	国道413号 5.3km ②-3	交通量	[台/日]	21,300	19,600
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	77.58	72.66
	市道 2.2km ②-4	交通量	[台/日]	19,200	16,000
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	12.57	11.68
	鍛冶谷相 模原線 4.3km ②-5	交通量	[台/日]	8,600	4,800
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	18.65	18.05
	中央自動 車道 9.2km ②-6	交通量	[台/日]	39,800	36,400
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	73.75	65.56
③その他道路 合計 1,805.0km	走行時間費用	[億円/年]	12,605.47	12,445.78	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,852.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,931.24	12,754.54	176.70

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

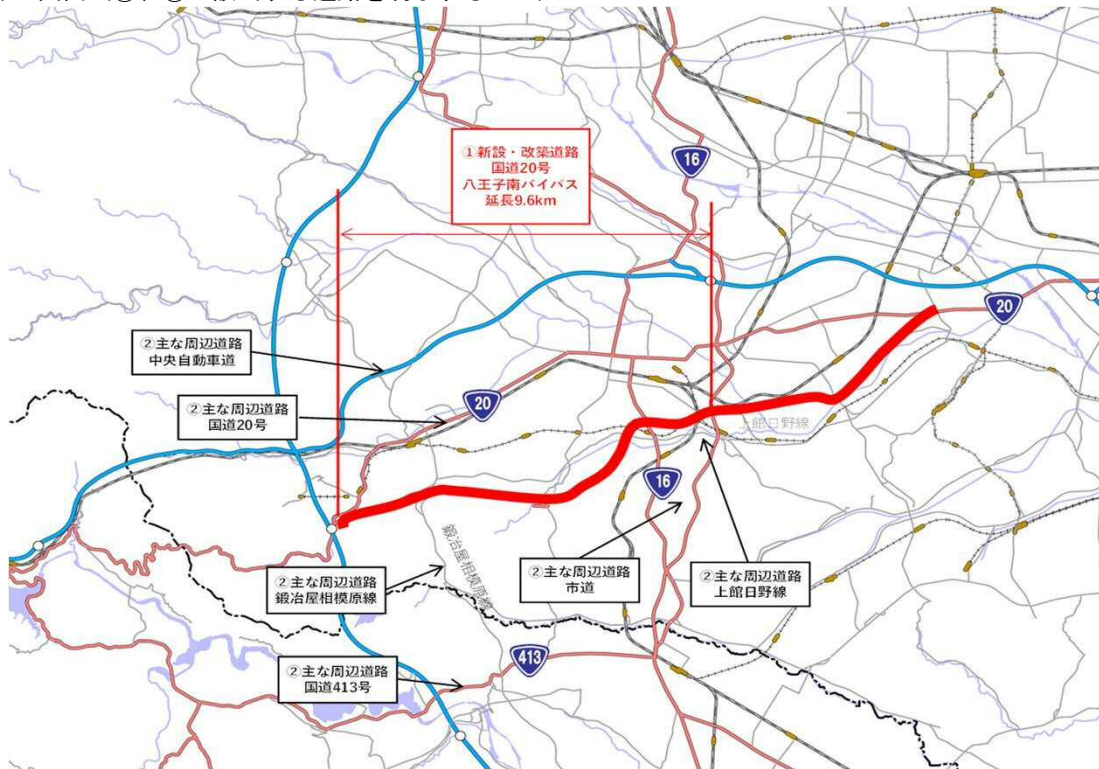
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：八王子南バイパス（残事業）

（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 9.6km	交通量 ^{※1}	[台/日]	16,100	30,400	
	走行時間 ^{※2}	[分]	2	10	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	6.99	54.30	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道20号 10.3km ②-1	交通量	[台/日]	21,900	16,300
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	75.61	61.51
	上館日野線 6.8km ②-2	交通量	[台/日]	14,700	9,400
		走行時間	[分]	23	17
		走行時間費用	[億円/年]	46.63	25.01
	国道413号 5.3km ②-3	交通量	[台/日]	21,000	19,600
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	73.99	72.66
	市道 2.2km ②-4	交通量	[台/日]	19,700	16,000
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	13.48	11.68
	鍛冶谷相模原線 4.3km ②-5	交通量	[台/日]	10,200	4,800
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	19.69	18.05
	中央自動車道 9.2km ②-6	交通量	[台/日]	38,200	36,400
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	69.88	65.56
③その他道路 合計 1,805.0km	走行時間費用	[億円/年]	12,552.39	12,445.78	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,852.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	12,858.66	12,754.54	104.12

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

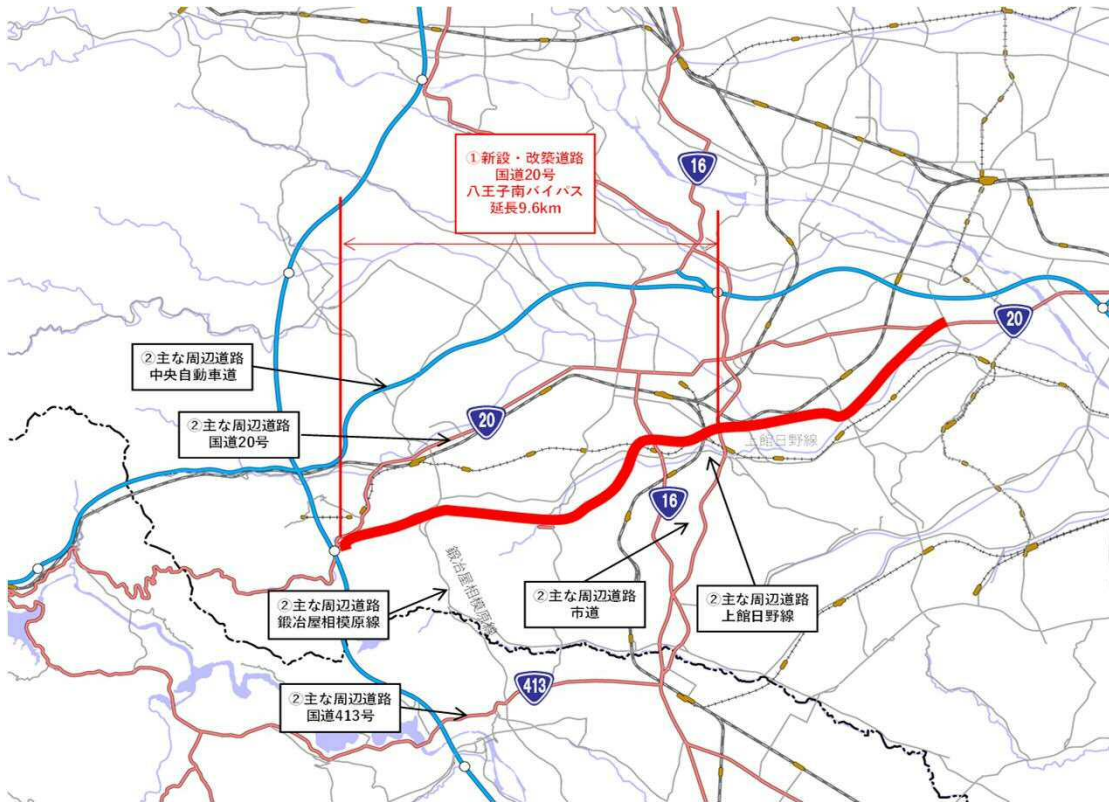
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：八王子南バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和4年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
				単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)	
				0.51		9.6		4.89	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-36年目	H9	2.6658	114.2	0.50	1.18				
-35年目	H10	2.5633	113.6	23.73	54.56				
-34年目	H11	2.4647	112.0	17.83	39.97				
-33年目	H12	2.3699	110.7	26.79	58.44				
-32年目	H13	2.2788	109.4	20.44	43.39				
-31年目	H14	2.1911	107.6	32.64	67.74				
-30年目	H15	2.1068	106.1	25.12	50.82				
-29年目	H16	2.0258	105.0	40.31	79.25				
-28年目	H17	1.9479	103.7	43.46	83.19				
-27年目	H18	1.8730	103.0	49.32	91.39				
-26年目	H19	1.8009	102.1	96.82	174.03				
-25年目	H20	1.7317	101.6	62.57	108.68				
-24年目	H21	1.6651	100.3	59.32	100.35				
-23年目	H22	1.6010	98.6	42.11	69.68				
-22年目	H23	1.5395	97.2	32.58	52.58				
-21年目	H24	1.4802	96.4	40.33	63.10				
-20年目	H25	1.4233	96.4	21.20	31.90				
-19年目	H26	1.3686	98.7	21.92	30.98				
-18年目	H27	1.3159	100.2	27.81	37.22				
-17年目	H28	1.2653	100.3	51.50	66.21				
-16年目	H29	1.2167	100.5	62.64	77.27				
-15年目	H30	1.1699	100.4	59.49	70.63				
-14年目	R1	1.1249	101.2	73.05	82.74				
-13年目	R2	1.0816	101.9	72.88	78.83				
-12年目	R3	1.0400	101.9	79.73	82.92				
-11年目	R4	1.0000	101.9	72.43	72.43				
-10年目	R5	0.9615	101.9	104.46	100.44				
-9年目	R6	0.9246	101.9	105.83	97.85				
-8年目	R7	0.8890	101.9	89.73	79.77				
-7年目	R8	0.8548	101.9	121.64	103.97				
-6年目	R9	0.8219	101.9	92.73	76.21				
-5年目	R10	0.7903	101.9	99.45	78.60				
-4年目	R11	0.7599	101.9	101.55	77.16				
-3年目	R12	0.7307	101.9	58.18	42.51				
-2年目	R13	0.7026	101.9	46.91	32.96				
-1年目	R14	0.6756	101.9	31.48	21.27				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			4.45	2.89		
1年目	R16	0.6246	101.9			4.45	2.78		
2年目	R17	0.6006	101.9			4.45	2.67		
3年目	R18	0.5775	101.9			4.45	2.57		
4年目	R19	0.5553	101.9			4.45	2.47		
5年目	R20	0.5339	101.9			4.45	2.37		
6年目	R21	0.5134	101.9			4.45	2.28		
7年目	R22	0.4936	101.9			4.45	2.19		
8年目	R23	0.4746	101.9			4.45	2.11		
9年目	R24	0.4564	101.9			4.45	2.03		
10年目	R25	0.4388	101.9			4.45	1.95		
11年目	R26	0.4220	101.9			4.45	1.88		
12年目	R27	0.4057	101.9			4.45	1.80		
13年目	R28	0.3901	101.9			4.45	1.73		
14年目	R29	0.3751	101.9			4.45	1.67		
15年目	R30	0.3607	101.9			4.45	1.60		
16年目	R31	0.3468	101.9			4.45	1.54		
17年目	R32	0.3335	101.9			4.45	1.48		
18年目	R33	0.3207	101.9			4.45	1.43		
19年目	R34	0.3083	101.9			4.45	1.37		
20年目	R35	0.2965	101.9			4.45	1.32		
21年目	R36	0.2851	101.9			4.45	1.27		
22年目	R37	0.2741	101.9			4.45	1.22		
23年目	R38	0.2636	101.9			4.45	1.17		
24年目	R39	0.2534	101.9			4.45	1.13		
25年目	R40	0.2437	101.9			4.45	1.08		
26年目	R41	0.2343	101.9			4.45	1.04		
27年目	R42	0.2253	101.9			4.45	1.00		
28年目	R43	0.2166	101.9			4.45	0.96		
29年目	R44	0.2083	101.9			4.45	0.93		
30年目	R45	0.2003	101.9			4.45	0.89		
31年目	R46	0.1926	101.9			4.45	0.86		
32年目	R47	0.1852	101.9			4.45	0.82		
33年目	R48	0.1780	101.9			4.45	0.79		
34年目	R49	0.1712	101.9			4.45	0.76		
35年目	R50	0.1646	101.9			4.45	0.73		
36年目	R51	0.1583	101.9			4.45	0.70		
37年目	R52	0.1522	101.9			4.45	0.68		
38年目	R53	0.1463	101.9			4.45	0.65		
39年目	R54	0.1407	101.9			4.45	0.63		
40年目	R55	0.1353	101.9			4.45	0.60		
41年目	R56	0.1301	101.9			4.45	0.58		
42年目	R57	0.1251	101.9			4.45	0.56		
43年目	R58	0.1203	101.9			4.45	0.53		
44年目	R59	0.1157	101.9			4.45	0.51		
45年目	R60	0.1112	101.9			4.45	0.49		
46年目	R61	0.1069	101.9			4.45	0.48		
47年目	R62	0.1028	101.9			4.45	0.46		
48年目	R63	0.0989	101.9			4.45	0.44		
49年目	R64	0.0951	101.9	-459.50	-43.70	4.45	0.42		
合計				1,548.99	2,436.53	222.27	64.52		
単純事業費計				2,008.49		222.27			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:八王子南バイパス(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.55		7.0		3.82	
-10年目	R5	0.9615	101.9	104.46	100.44				
-9年目	R6	0.9246	101.9	105.83	97.85				
-8年目	R7	0.8890	101.9	89.73	79.77				
-7年目	R8	0.8548	101.9	121.64	103.97				
-6年目	R9	0.8219	101.9	92.73	76.21				
-5年目	R10	0.7903	101.9	99.45	78.60				
-4年目	R11	0.7599	101.9	101.55	77.16				
-3年目	R12	0.7307	101.9	58.18	42.51				
-2年目	R13	0.7026	101.9	46.91	32.96				
-1年目	R14	0.6756	101.9	31.48	21.27				
供用開始年度	R15	0.6496	101.9			3.47	2.26		
1年目	R16	0.6246	101.9			3.47	2.17		
2年目	R17	0.6006	101.9			3.47	2.09		
3年目	R18	0.5775	101.9			3.47	2.01		
4年目	R19	0.5553	101.9			3.47	1.93		
5年目	R20	0.5339	101.9			3.47	1.85		
6年目	R21	0.5134	101.9			3.47	1.78		
7年目	R22	0.4936	101.9			3.47	1.71		
8年目	R23	0.4746	101.9			3.47	1.65		
9年目	R24	0.4564	101.9			3.47	1.58		
10年目	R25	0.4388	101.9			3.47	1.52		
11年目	R26	0.4220	101.9			3.47	1.47		
12年目	R27	0.4057	101.9			3.47	1.41		
13年目	R28	0.3901	101.9			3.47	1.35		
14年目	R29	0.3751	101.9			3.47	1.30		
15年目	R30	0.3607	101.9			3.47	1.25		
16年目	R31	0.3468	101.9			3.47	1.20		
17年目	R32	0.3335	101.9			3.47	1.16		
18年目	R33	0.3207	101.9			3.47	1.11		
19年目	R34	0.3083	101.9			3.47	1.07		
20年目	R35	0.2965	101.9			3.47	1.03		
21年目	R36	0.2851	101.9			3.47	0.99		
22年目	R37	0.2741	101.9			3.47	0.95		
23年目	R38	0.2636	101.9			3.47	0.92		
24年目	R39	0.2534	101.9			3.47	0.88		
25年目	R40	0.2437	101.9			3.47	0.85		
26年目	R41	0.2343	101.9			3.47	0.81		
27年目	R42	0.2253	101.9			3.47	0.78		
28年目	R43	0.2166	101.9			3.47	0.75		
29年目	R44	0.2083	101.9			3.47	0.72		
30年目	R45	0.2003	101.9			3.47	0.70		
31年目	R46	0.1926	101.9			3.47	0.67		
32年目	R47	0.1852	101.9			3.47	0.64		
33年目	R48	0.1780	101.9			3.47	0.62		
34年目	R49	0.1712	101.9			3.47	0.59		
35年目	R50	0.1646	101.9			3.47	0.57		
36年目	R51	0.1583	101.9			3.47	0.55		
37年目	R52	0.1522	101.9			3.47	0.53		
38年目	R53	0.1463	101.9			3.47	0.51		
39年目	R54	0.1407	101.9			3.47	0.49		
40年目	R55	0.1353	101.9			3.47	0.47		
41年目	R56	0.1301	101.9			3.47	0.45		
42年目	R57	0.1251	101.9			3.47	0.43		
43年目	R58	0.1203	101.9			3.47	0.42		
44年目	R59	0.1157	101.9			3.47	0.40		
45年目	R60	0.1112	101.9			3.47	0.39		
46年目	R61	0.1069	101.9			3.47	0.37		
47年目	R62	0.1028	101.9			3.47	0.36		
48年目	R63	0.0989	101.9			3.47	0.34		
49年目	R64	0.0951	101.9	-118.15	-11.24	3.47	0.33		
合計				733.79	699.51	173.64	50.40		
単純事業費計				851.95		173.64			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した概略事業計画の値によるものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	八王子南バイパス	4	9.6km

■事業費内訳(事業全体費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					141,625	
	改良費		式	1	55,667	
		土工	m ³	6,459,986	22,407	
		軟弱地盤改良工	m ³	8,276	34	
		法面工	m ²	69,712	190	
		擁壁工	式	1	6,811	
		管渠工	m	3,715	79	
		函渠工	m	2,082	15,366	
		排水工	m	40,429	979	
		中央分離帯工	m	2,034	66	
		雑工	式	1	9,736	埋文調査、調整池
	橋梁費		式	1	15,566	
		100m以上	m	1,450	13,839	
		100m未満	m	30	1,727	
	トンネル費		式	1	60,449	
		開削	m	1,640	18,749	
		NATM	m	1,830	15,000	
		シールド	m	560	26,700	
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	2,071	
		車道舗装	m ²	221,044	1,979	
		歩道舗装	m ²	59,874	92	
	附帯施設費		式	1	7,872	
		交通管理施設工	式	1	30	
		遮音壁	m	4,758	2,842	
		電線共同溝	m	10,000	5,000	
②用地及補償費					370,451	53,000
	用地費		m ²	370,450	45,950	
		宅地	m ²	181,950	42,953	
		田畑	m ²	25,600	2,432	
		山林・原野	m ²	162,900	565	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	7,050	
③間接経費					19,575	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					214,200	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	八王子南バイパス	4	7.0km

■事業費内訳(残事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				71,330	
	改良費		式	1	34,233	
		土工	m ³	3,963,200	13,747	
		軟弱地盤改良工	m ³	8,276	34	
		法面工	m ²	23,990	65	
		擁壁工	式	1	3,537	
		管渠工	m	3,715	79	
		函渠工	m	1,900	14,023	
		排水工	m	4,340	105	
		中央分離帯工	m	1,940	63	
		雑工	式	1	2,580	埋文調査、調整池
	橋梁費		式	1	5,780	
		100m以上	m	1,450	4,280	
		100m未満	m	30	1,500	
	トンネル費		式	1	22,308	
		開削	m	1,640	1,835	
		NATM	m			
		シールド	m	560	20,474	
	IC・JCT費					
		IC				
		JCT				
	舗装費		式	1	1,665	
		車道舗装	m ²	176,659	1,584	
		歩道舗装	m ²	59,874	81	
	附帯施設費		式	1	7,344	
		交通管理施設工	式	1	15	
		遮音壁	m	3,899	2,329	
		電線共同溝	m	10,000	5,000	
②	用地及補償費			54,123	12,294	
	用地費		m ²	54,122	11,815	
		宅地	m ²	50,638	11,787	
		田畑	m ²	180	17	
		山林・原野	m ²	3,304	11	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	478	
③	間接経費		式	1	8,909	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				92,533	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	八王子南バイパス	4	9.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.6	4,150	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	20,300	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			24,450	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道20号	八王子南バイパス	4	7.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.0	3,050	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	16,050	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			19,100	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。

4建総企第228号
令和4年10月13日

国土交通省
関東地方整備局長 殿

東京都知事
小池 百合子
(公印省略)

関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

令和4年10月5日付国関整企画第121号にて照会がありました標記の件について、
別紙のとおり回答いたします。



(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	東京都知事の意見
一般国道20号 日野バイパス(延伸)	継続	<p>本事業は、並行する国道20号現道や北野街道などの渋滞緩和や、八王子南バイパスと一体となり、圏央道へのアクセス性の向上に資するなど重要な事業である。</p> <p>このため、土地区画整理事業と連携し、用地取得を促進するとともに、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。</p> <p>さらに、事業実施にあたっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。</p>
一般国道20号 日野バイパス(延伸)Ⅱ期	継続	<p>本事業は、並行する国道20号現道や北野街道などの渋滞緩和や、八王子南バイパスと一体となり、圏央道へのアクセス性の向上に資するなど重要な事業である。</p> <p>このため、土地区画整理事業と連携し、用地取得を促進するとともに、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。</p> <p>さらに、事業実施にあたっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。</p>
一般国道20号 八王子南バイパス	継続	<p>本事業は、並行する国道20号現道や北野街道などの渋滞緩和や、圏央道へのアクセス性の向上に資するなど重要な事業である。また、東京医大八王子医療センターなどの救急医療施設までの所要時間が短縮され、救命率の向上にも寄与することが期待される。</p> <p>このため、必要な財源を確保し、早期完成に向け、事業を推進されたい。加えて、接続する国道16号の整備に向けた検討も併せて行うこと。</p> <p>さらに、事業実施にあたっては、コスト縮減を図るなど、より効率的な事業推進に努めること。</p>

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。